

5月号



麻布幼稚園だより

令和2年4月30日
港区立麻布幼稚園
園長 藤田 智子

力を蓄える時期

木々の若葉がすがすがしい季節となりました。園庭には、赤く色付いたサクランボの実を口にしようと集まってきた鳥たちのさえずりが賑やかに響いています。ここに子どもたちの姿があったらと、その姿を思い浮かべながら、子どもたちが元気に過ごす幼稚園の日常が一日も早く戻ることを日々切に願ひ、幼稚園の再開を待っているところです。

さて、ご自宅で過ごす期間が長くなり、元気いっぱいの子どもたちは、その力をもてあましているのではないのでしょうか。幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている子どもたちが、少しでも幼稚園の様子を知ることができ、一緒に楽しむことができればと思い、麻布幼稚園ホームページ上に『麻布幼稚園 special』のメニューを加えました。自分の保育室の様子を知り、自分の学級の担任先生や麻布幼稚園のいろいろな先生を知ることができる『麻布幼稚園 special』。それぞれの先生によるパネルシアターやクイズ、体操、歌などは、是非ご家庭で一緒に参加して楽しんでください。画面上で初めて会う先生方もいたと思いますが、親しみを感じるにつながればと思います。今後も、ご家庭の限られた環境の中でもできる、体を動かせるような遊びや製作、親子での活動をご紹介します。誕生会やこどもの日に向けての活動など、園で行う予定であった行事に関する動画も配信します。楽しみにしててください。なお、閲覧のためのパスワードは、緊急メールでお知らせしてあります。



幼稚園のこいのぼり
気持ち良さそうに泳いでいます

このような非常時においては、ホームページや緊急メール、動画の配信など、通信ネットワークがとても役立ち、それらの活用により必要な情報を共有することができ、離れていてもつながることができます。しかしながら、どんなにIT化が進んでも代えることができないものは、人と直接関わる中での学び、実際に体験することであると実感する日々です。遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育む場である幼稚園の大切さ、幼稚園教育の大切さを改めて感じています。とは言え、今は友達と一緒にという経験はできませんので、ご家庭でおうちの方との関わりを通していろいろな体験を積み重ねていく中で、それぞれの子どもがもつ“体験の引き出し”を豊かにする時期としていただきたいと思います。絵本の読み聞かせをする、新聞紙や空き箱など身近な材料で遊びに使いたいものを作ってみる、一緒に食事の支度をし、洗濯物をたたむなど、特別なことではなくても、一つ一つの体験が、子どもたち個々の能力を高めていくことにつながります。また、この時期に基本的な生活習慣の見直しをし、自分のことを自分ですることができるようになることが、幼稚園の再開時にスムーズに園生活をスタートすることにつながります。それぞれの幼児が自分のペースでじっくりと身の回りのことや身に付けたいことに向き合い、自分の基盤となる力を蓄える時期にしてほしいと思います。

園が再開してもすぐに通常通りというわけにはいかないとお考えかもしれませんが、その時々状況に対応しながら教育活動を進めていきます。必要な情報はその都度お知らせします。ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

始業式、入園式の日には元気な子どもたちと保護者の皆様にお会いできることを楽しみにしています。

